



事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービス おもちゃ箱なかまち		
保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 3月 10日		
保護者評価有効回答数	(対象者数) 24	(回答者数) 16	
従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 3月 10日		
従業者評価有効回答数	(対象者数) 13	(回答者数) 13	
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動は日々工夫しており、できるだけ児童に合った内容を提供している。また活動に見通しを持てるように表記などもひらがなや絵カードを用いている。	外出活動（公園など）で、運動能力の向上が見られた場合はしっかり評価し、本人の満足感や達成感に繋がるような声掛けや支援を心がけている。	無理なく怪我防止も考慮しながら、スモールステップを繰り返し、身体能力の向上を目指して行く。また体を動かす楽しみも伝えられるようにしていく。
2	学習タイムを設けて、宿題のサポートや児童の能力に合わせたプリントや手作業の提供をおこなっている。	学習では答えを導き出すヒントを伝えたり、辞書の引き方などを伝えながら学習意欲が増すような関わり方を大切にしている。	個々の興味や能力に合わせた資料を作成し提供していく。学習能力や意欲の向上を目指して行く。保護者にも現在のお子さんの取り組み内容を伝える。
3	活動の中で、対おとなよりも、子どもたち同士で関わる機会を大切にしている。	できるだけ他者とのコミュニケーションが取れるようになるため、集団遊びにも力を入れている。遊びを通して、社会性や協調性学ぶ機会を増やしていく。	他の放課後等デイサービス、放課後児童クラブ、児童館など様々な子ども達と交流する機会を設け、児童同士の関わりを広がりを目指す。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の連携で共有事項を時々だがうっかり伝え忘れており、全員が把握できていない時がある。	伝達したつもりが、うっかりできていなかったりする事が、要因として考えられる。	報告、連絡、相談、確認を改めて行っていく。また伝達方法も口頭だけでなく、記録などを見る習慣を職員が個々に徹底していく。
2	保護者への定期的（月1回）な避難訓練の報告ができていなかったため、保護者の中でも訓練実地の把握をしていない方がいらっしまった。	伝える優先順位として訓練の報告が順位が下位になりがちになっているように思える。	引き続き、自宅送迎などの時間を利用し、その日の活動や様子を保護者に伝えて活動へのご理解や了承を得られるようにしていく。
3			

|